

話題の 焦点

防音材

生活リズムの異なる高齢者との同居など、家庭内で発生する音が問題となっている。家族同士が快適に暮らすためにも、防音対策は急務だ。そうした中、粘着剤を壁や床材の間に塗布するだけの簡易施工の防音材料が開発されている。

水にゴムを溶かして 作られた防音材

音は空気の振動により伝わるため、防音のためには壁を厚く重くするのが効果的だ。従来の防音

工事はゴムや砂を使った防音シートなどを壁の中に入れることが一般的だったが、施工に制約があった。サンゴバン（株）では石膏ボードや合板の間に粘着剤を挟み込むだけで防音できる「グリーングルー」を販売している。

この「グリーングルー」は水に微量なゴムを溶かして作られているので、粘着剤が乾くとゴム状になり、面密度を高めることで振動を吸収する仕組みだ。施工はとて

も簡単で、チューブに入っている塗布剤をボードに塗り付け、塗布15分後に防音したい床や壁にねじで張り付けるだけだ。コテで均等に伸ばす必要はなく、ボードを張り付け

るだけで塗布剤は0.5mmほどにのび、施工完了後2〜4週間ほどで完全に乾く。塗布剤は水性なのでシックハウスなどの心配はなく、施工中に手や目についたものは石鹸で簡単に落とすことができる。

笑い声がささやき声 程度に軽減

防音性能も優れていない。防音をしていない42dBの壁で、1.6mmの防音シートを施工した場合47dB、グリーングルーを施工するとさらに高い53dBになる。つまり10dBも音が小さくなるわけで、これは大きな咳払いや小学生の笑い声（約80dB）の音が、ささやき声（約30

dB）ほどにしか聞こえなくなるほどの遮音性能だ。価格は850gのチューブ1本1600〜2400円ほどで、1ケース12本入り、これで約18㎡施工できる。1㎡あたりでは約1000円で、防音シートが1㎡あたり約500〜1000円なので価格は多少高めだが、その性能に優れている。

▶防音材料「グリーングルー」を挟んだボードは音が静かになる



ボードの間に塗るだけの塗布タイプの防音材料

「本製品はアメリカで2004年から販売されて好評をいただき、今、世界で最も売れている防音材料の一つです。日本では遮音シートの方が一般的ですが、アメリカではすでにスタンダードな防音工事になっています」（サンゴバン機能樹脂事業部コンボジツエリアマネージャー・大畑哲哉氏）。